

siroca

マイコン電気圧力鍋 SPC-211 取扱説明書

保証書つき



このたびは siroca マイコン電気圧力鍋 SPC-211 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書を必ずお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、必ず保管してお使いください。

圧力鍋は加熱されると内部が極めて高温・高圧になります。取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

お
使
い
に
な
る
前
に

安全上のご注意 2

使用上のお願い 4

調理上の注意 4

本製品でできること 5

各部のなまえ 6

ディスプレイの表示 8

使
い
か
た

ご使用の前に 9

使いかた 12

ご
愛
用
の
手
引
き

お手入れ 19

故障かなと思ったら 21

仕様 23

部品・消耗品 23

アフターサービス 24

お客様相談窓口 24

保証書 28

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならない
でください。

日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



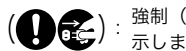
注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもや介護の必要な方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



接触禁止

使用中、使用直後は圧力表示ピンや圧力切替弁に触ったり、手や顔を近づけない

やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

本体のすき間、開口部にピンや針金などの金属物を入れない

本体内部に入り、ショート・故障・けがの原因になります。



禁止

落としたり、衝撃を加えたりしない

感電・故障の原因になります。



禁止

圧力切替弁、ノズル、圧力表示ピンなどが目詰まりしている場合は使用しない

やけど・けがの原因になります。



禁止

屋外で使用しない

故障の原因になります。



禁止

調理中は、無理にふたを開けない。移動させない

蒸気や調理物が噴出し、やけど・けがの原因になります。



強制

パッキンなどの付属品は必ず取りつけて使用する

故障・やけど・けがの原因になります。また、傷んだパッキンは使用しないでください。



強制

製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

＜異常・故障例＞

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・本体が作動しない

など上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

調理以外の用途では使用しない

故障・やけど・けがの原因になります。



禁止

レトルトパックなどを入れて調理しない

故障・発火の原因になります。

◆電源コード・電源プラグについて◆



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



強制

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



強制

電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりは拭き取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

電源プラグをなめさせない

感電・けがの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

電源プラグに蒸気を当てない

ショート・発火の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使用かたや、交流 100V 以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

電源コード・電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

警告

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む

など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。

注意

◆ 使用上の注意事項 ◆



不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒や落下によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。

毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂、スライド式テーブルの上

など



壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。



ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使わない

変形・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない

ショート・感電・故障の原因になります。



電源コードは必ず付属のものを使用する

故障・発火の原因になります。



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れない

高温のため、やけどの原因になります。必ずミトンやぬれふきんを使用してください。



ノズルや取っ手にガタつきがある場合は使用しない

けがの原因になります。



本体を移動する際は、ふたを確実に閉める

調理物の熱い蒸気に触れたり調理物をこぼしたりして、やけどの原因になります。



ふたの取っ手を持って移動しない

落下によるけが・故障の原因になります。移動には本体の取っ手を使用してください。



多量の油・重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない

やけど・故障の原因になります。



空だきをしない

変形・変色の原因になります。

禁止



市販のタイマー機器を接続して使用しない

故障の原因となります。



お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



付属品を電子レンジ・オーブン・オープンレンジなどで使用しない

破損・変形の原因になります。



金属製のへらなどは使用しない。内なべで米を研がない。洗いおけ代わりに使用しない

内なべに傷が付く原因になります。



内ふたとパッキンを取りつけないまま使用しない

故障の原因になります。



ふたを開ける場合は、圧力表示ピンが下がった後、圧力切替弁を回して蒸気を完全に排出してから開ける

やけど・けがの原因になります。



内なべを直火にかけない

変形・変色の原因になります。



パッキンなどは付属品以外のものを使用しない

破損・故障の原因になります。



ふたを確実に閉める

ふたの取りつけが不十分だと、やけど・けがの原因になります。



調理量の最大量と最小量を必ず守る

やけど・けがの原因になります。

使用上のお願い



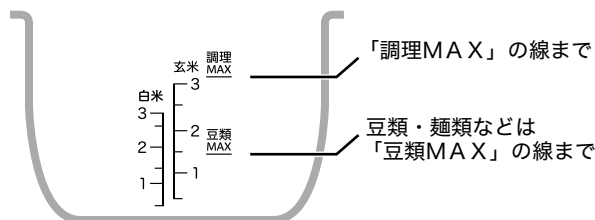
※ 圧力鍋は加熱されると内部が極めて高温・高圧になります。取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

- 火気の近く、可燃物の近く、水のかかる場所には設置しないでください。また、棚などで使う場合は、蒸気がこもらないようにしてください。 **故障の原因**
- ふたのノズルが詰まっていないことを確認してから使用してください。 **けが・やけどの原因**
⇒ ノズルの確認方法については、10 ページの「ふたの組み立てと確認」を参照してください。
- 調理中や調理の直後は、振動などで蒸気が噴き出すおそれがあるため移動させないでください。 **けが・やけどの原因**
- 調理後は、内部の圧力が残っている状態で、絶対にふたを無理に開けないでください。 **けが・やけどの原因**
- 直射日光の当たるところでは使用しないでください。 **変色の原因**
- 調理前に、本体にしっかりと付属品が取り付けられていること、本体と内なべの間にガタつきがないことを確認してください。 **故障の原因**
- 内なべや本体内部、内ふたなどに、食品かすなどの異物を付けたまま使用しないでください。 **故障の原因**
⇒ 異物の取り除きかたは、19～20 ページの「お手入れ」を参照してください。
- 調理中、本体にふきんなどをかけたままにしないでください。 **変色・変形の原因**
- 内なべは傷をつけたり、変形させたりしないでください。 **故障の原因**

調理上の注意

- 内なべの「調理 MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わないでください。豆類や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類 MAX」の線以上に、水や食材を入れないでください。

けが・やけどの原因



- カレーやシチューのルー、ジャムなど、粘りけのあるものを入れて加圧調理しないでください。 **けが・やけどの原因**
- 重曹など発泡するものや、多量の油を入れて調理しないでください。 **けが・やけどの原因**
- 調味料の溶け残りを防ぐため、調味料はあらかじめ混ぜ合わせてから入れてください。 **うまく調理できない原因**
- 内なべと本体の間に水を入れないでください。 **故障の原因**
- 内なべのコーティングを傷つけないため、内なべで米を研いだり、豆などのかたい食材を洗ったりしないでください。かたい食材を調理する際は、内なべの内面に食材を押しつけたり、強くかき混ぜたりしないでください。また、金属製のヘラやおたまなどは使用しないでください。 **焦げつきの原因**
- おかゆを調理する場合、青野菜などの具は加圧調理後に入れてください。 **故障の原因**

本製品でできること

8 種の便利な基本メニュー

メニューを選ぶだけで、あとはおまかせで加圧調理ができます。

● 白米 ● 玄米 ● おかゆ ● おこわ ● 野菜 ● 魚介類 ● 肉類 ● 豆類

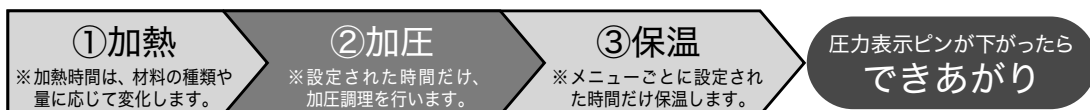
※ 調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。

その他の便利な機能

- お好みモード
加圧時間をお好みで設定できます。
- スロークッカーモード
加圧せずに調理を行います。
沸騰させずにじっくりと調理することで、煮崩れ
せずに食材をやわらかく調理することができます。
冷めてしまった料理を再加熱する際にも便利です。
- 保温機能
最大 24 時間まで保温できます。
- タイマー機能
入タイマー（予約炊飯）を最大 24 時間（10 分刻み）
で設定可能です。生活シーンに合わせてタイマー
設定できます。
※ 入タイマー（予約炊飯）は、白米・玄米以外の
調理には使用しないでください。

調理時間の目安

電気圧力鍋では「加熱」「加圧」「保温」の 3 つの工程で調理を行います。



①加熱：調理を開始すると、本体内部を一定の圧力に上げるために加熱を行います。

※ 加熱時間の目安は、3 分～ 20 分です。ただし、材料の種類や量に応じて変化します。

②加圧：本体内部が一定の圧力に達し、維持されている状態を加圧状態といいます。

メニューごとに加圧時間が予め設定されていますが、時間 + (▲) ボタンや時間 - (▼) ボタンで加圧時間を 1 分単位で調節することができます。加圧時間は、材料の種類・量・大きさに応じて調節してください。メニューごとの加圧時間の初期値と設定可能時間は下記の通りです。

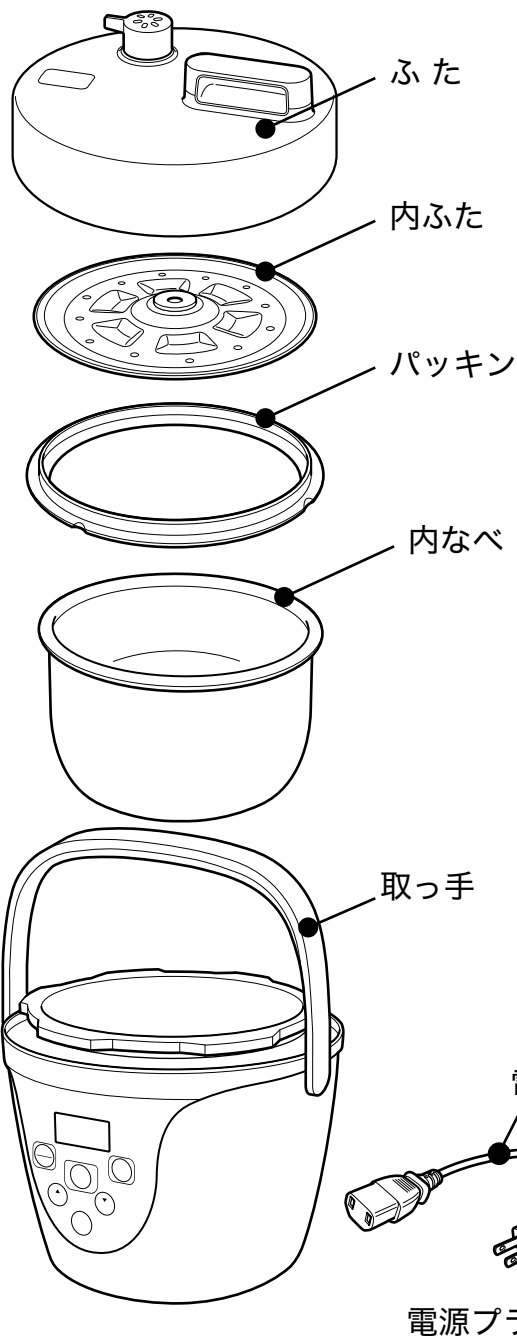
調理モード	初期値（設定可能時間）	保温時間	調理モード	初期値（設定可能時間）	保温時間
白米	8 分（3 ～ 13 分）	12 時間	野菜	8 分（3 ～ 13 分）	1 時間
玄米	60 分（55 ～ 65 分）		魚介類	13 分（8 ～ 18 分）	
おかゆ	18 分（13 ～ 23 分）		肉類	15 分（10 ～ 20 分）	
おこわ	10 分（5 ～ 15 分）		豆類	18 分（13 ～ 23 分）	

③保温：加圧調理が終了すると、自動的に保温に切り替わり、減圧されていきます。

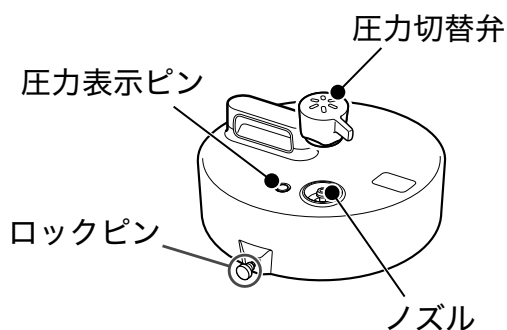
※ 加圧調理後は、圧力表示ピンが下がってからふたを開けてください。圧力表示ピンが下がるまでの時間の目安は、5 ～ 20 分です。

各部のなまえ

正面

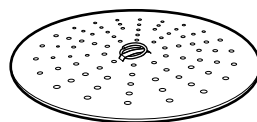


背面

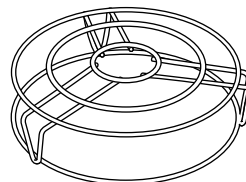


付属品

落しふた



蒸し台



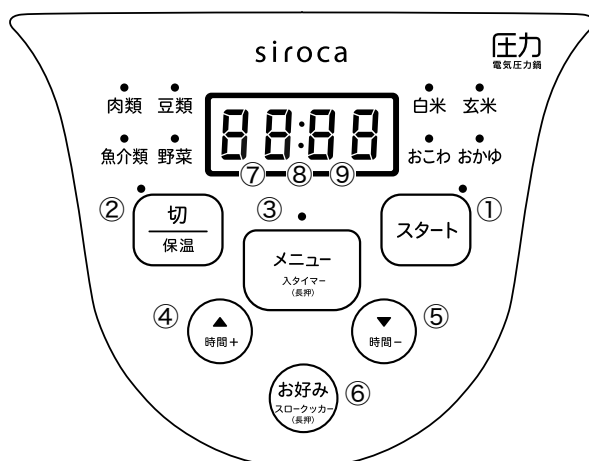
レシピブック

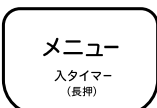


- ※ 付属の落しふたは、煮物料理に使用します。食材の上に、直接落しふたをのせてください。
- ※ 付属の蒸し台は、プリンや茶碗蒸しなどの蒸し料理に使用します。水を入れた内なべに蒸し台をセットし、蒸し台の上に調理物をのせてください。(調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。)
- ※ 蒸し台を使用する際は、必ず内なべに水を入れてください。空だきはしないでください。
- ※ 落しふたと蒸し台は、イラストの向きで置いてください。
(落しふたはリングのついている面が上、蒸し台はリングが3重になっている面が上です。)

各部のなまえ

操作パネル



ボタン	機能説明
① スタートボタン 	● 運転をスタートするときに押します。
② 切 / 保温ボタン 	● 操作設定の取り消しや作動中の機能を中止するときと、保温を入 / 切するときに押します。
③ メニューボタン 	● メニューを選択するときに押します。 押すごとに、「白米」→「玄米」→「おかゆ」→「おこわ」→「野菜」→「魚介類」→「肉類」→「豆類」→「白米」→…の順に切り替わります。 ● 長押しすると入タイマー（予約炊飯）を設定できます。
④ 時間 + (▲) ボタン ⑤ 時間 - (▼) ボタン  	● 加圧・加熱時間やタイマー時間を調節するときに押します。  ：押すごとに、時間が進みます。長押しすると早く進みます。  ：押すごとに、時間が戻ります。長押しすると早く戻ります。 ※ 各モードの時間設定については、8 ページの「メニュー選択・調理モード設定中の表示」を参照してください。
⑥ お好みボタン 	● 加圧時間を自由に設定するときに押します。（お好みモード） ● 長押しするとスロークッカーモードに設定できます。
ディスプレイ  ⑦ ⑧ ⑨	⑦ 調理モード（加圧調理、スロークッカーモード）や、調理の工程（加圧・加熱）を表示します。 ⑧ 中央の「:」は、加圧や保温、入タイマー（予約炊飯）の動作中に点滅します。 ⑨ 設定時間や、経過時間を表示します。 ※ 保温中や入タイマー（予約炊飯）運転中は、「00:05」のように、保温の経過時間や、入タイマー（予約炊飯）の残り時間が表示されます。

ディスプレイの表示

メニュー選択・調理モード設定中の表示

メニュー選択モード

メニュー選択時は、「P XX」と表示されます。XXの部分には加圧時間が表示されます。加圧時間は1分単位で設定できます。(設定範囲はメニューにより異なります。)

P 08

スロークッカーモード

スロークッカーモード選択時は、「S XX」と表示されます。XXの部分には加熱時間が表示されます。加熱時間は、1時間未満は5分単位、1時間以上は1時間単位で設定できます(最大24時間)。

S 06

お好みモード

お好みモード選択時は、「P XX」と表示されます。XXの部分には加圧時間が表示されます。加圧時間は1分単位で設定できます(最大60分)。

P 01

運転中の表示

スタンバイモード

電源接続直後や調理終了後は、スタンバイモードとなり、「0000」と表示されます。

0000

加熱中

加熱中は、ディスプレイ左側の表示が回転します。

7P08

加圧中

加圧中は、「:」が点滅し、残りの加圧時間が表示されます。

P:08 または 7P08

※ 残りの加圧時間が、8分の場合の表示です。

保温中

保温中は、「:」が点滅し、保温開始からの経過時間が表示されます。

00:05

入タイマー（予約炊飯）運転中

入タイマー（予約炊飯）の運転中は、「:」が点滅し、調理開始までの残り時間が表示されます。

07:30

スロークッカーモード運転中

スロークッカーモードの運転中は、「:」が点滅し、残りの加熱時間が表示されます。

5:06 または 7P06

※ 残りの加熱時間が、6時間の場合の表示です。



残りの加熱時間が1時間以下になると、時間の表示が分単位に変わります。

50:59

※ 残りの加熱時間が、59分の場合の表示です。

ご使用前に

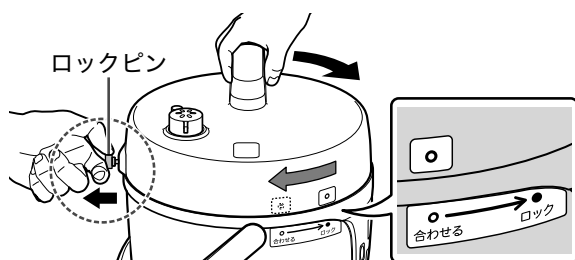
本製品をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合は、本体内部にほこりやごみなどが付着している可能性があります。19～20ページの「お手入れ」を参照して各部を洗浄してからお使いください。洗浄後は、よく乾かしてからご使用ください。

ふたの開けかた、閉めかた

開けかた

ロックピンを引っ張りながら、図の方向に、ふたの●マークと本体側面の●マークが合う位置まで回します。

※ 調理後にふたを開ける場合は、ふたの高温部（ロックピンや圧力切替弁、圧力表示ピン、内ふたなど）や、調理物から出てくる蒸気に素手で触れないように、必ずミトンを使用してください。

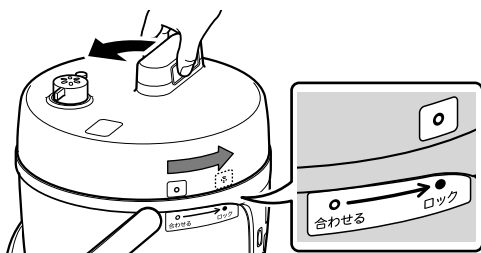


閉めかた

本体側面の●マークとふたの●マークの位置を合わせてふたをはめ込み、図の方向に、本体側面の●マークの位置まで回します。

※ ●マークと●マークの位置は、本体およびふた側面のラベル（下図）で確認してください。

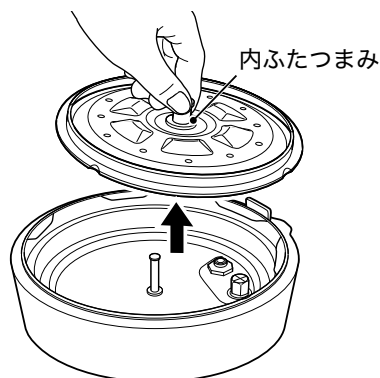
※ “カチャ”と音がし、ロックピンが出て戻るのを確認してください。



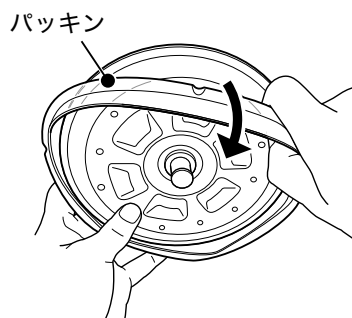
※ 調理の際は、ふたは確実に閉めてロックしてください。安全のため、ふたがロックされていないと加圧調理ができません。

ふたの分解

- ① 中央部の内ふたつまみを持って、ふたから内ふたを取りはずします。

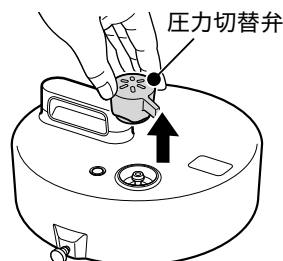


- ② 内ふたの周囲にあるパッキンを取りはずします。



- ③ 圧力切替弁をふたから引き抜きます。

※ 引き抜きのときは、ふたを押さえながら圧力切替弁を引き抜いてください。



ふたの組み立てと確認

① 圧力表示ピンが動くか確認します。

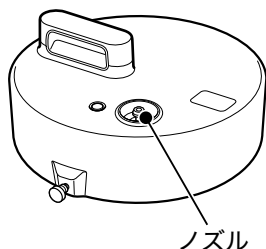
※ ふたの内側から、圧力表示ピンをつまんで上下に動くことを確認してください。確認時、圧力表示ピンのパッキンに無理な力を加えないように注意してください。



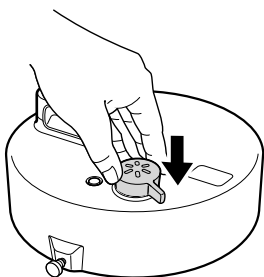
※ お手入れなどで圧力表示ピンのパッキンを取りはずした場合は、必ず取りつけてください。

② 圧力切替弁をふたにはめ込みます。

※ はじめに、つまようじなどをノズルに差し込み、ノズルが詰まっていないことを確認してください。ノズルが詰まっていると圧力調整ができず、蒸気や調理物が噴出して、けが、やけどの原因になります。



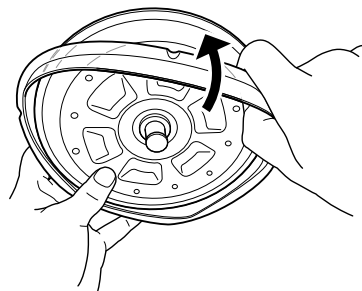
※ 圧力切替弁を強く押してはめ込んでください。



※ 圧力切替弁をはめ込んだ後、軽く引っ張って、圧力切替弁が抜けないことを確認してください。

③ 内ふたの周囲にパッキンを取りつけます。

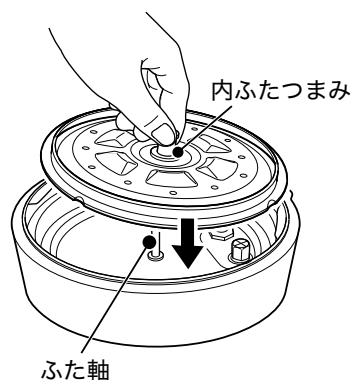
※ パッキンはしっかりとはめ込んでください。



④ 内ふたをふたにしっかりと取りつけます。

※ 内ふたつまみが外側になるように取りつけてください。

※ 内ふたつまみにふた軸をしっかりと差し込みます。その後、内ふたが落ちないことを確認してください。

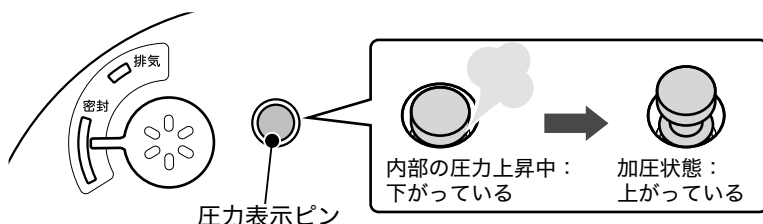


※ 部品のつけ忘れにご注意ください。

- 内ふたやパッキンをつけ忘れると、機器の内部に蒸気が入り込み、故障の原因になります。
- 圧力切替弁や圧力表示ピンをつけ忘れると、圧力がかからず調理ができない原因になります。

圧力表示ピンについて

調理開始後、内部の圧力が上昇するとピンの位置から蒸気が噴出します。内部の圧力が上昇するにつれてピンが上がり、加圧状態に達するとピンが上がりきって蒸気の噴出も停止します。



※ 圧力表示ピンの位置から噴出される蒸気に注意してください。やけどの原因になります。

圧力切替弁について

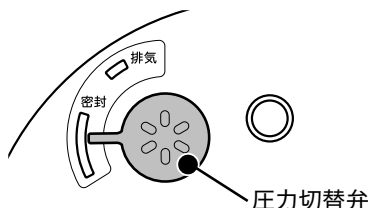
圧力切替弁には「密封」と「排気」の2つの機能があります。



※ 調理中や調理の直後は、圧力切替弁には触れないでください。けが、やけどの原因になります。

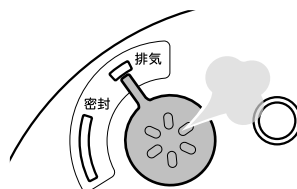
密封

内部の圧力を一定に保ちます。
調理開始時には必ず「密封」の位置に合わせます。



排気

スロークッカーモードで加熱調理をする場合は、
圧力切替弁を「排気」の位置に合わせます。



※ 加熱調理中は、圧力切替弁から排出される蒸気に注意してください。



※ 調理中や調理の直後は、絶対に圧力切替弁を「排気」にしないでください。高温の蒸気が吹き出し、けが、やけどの原因になります。

ふたの安全装置について

本製品は安全のため、ふたがロックされていない状態では、加圧調理ができません。
以下の場合、故障ではありません。

ディスプレイに「ー」が表示されて、ボタンを押しても操作できない

加圧調理の場合、ふたがロックされていないと、加圧調理の設定操作や調理開始の操作ができません。
ふたを閉めてロックすることで、ボタン操作ができるようになります。

ディスプレイに「ー」が表示されて、加圧調理が停止している

加圧調理の途中でふたを開けると、安全装置により調理が中断します。
ふたを閉めてロックすることで、調理が再開します。

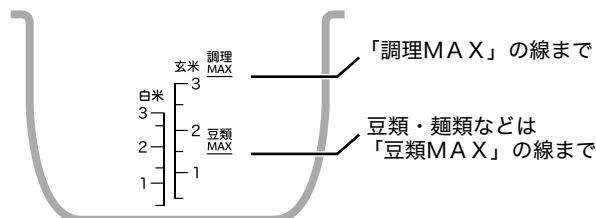
使いかた

1 材料を内なべに入れ、本体にセットする

※ 調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。



- ※ 内なべのコーティングを傷つけないため、内なべで米を研いだり、豆などのかたい食材を洗ったりしないでください。
- ※ 内なべ外側の水気を拭き取ってから、セットしてください。
- ※ 内なべの「調理 MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わないでください。豆類や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類 MAX」の線以上に、水や食材を入れないでください。



※ 内なべが傾いていないか、本体と内なべの間に食品かすなどの異物が挟まっていないか必ず確認してください。



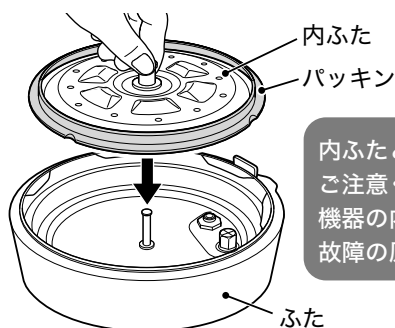
※ カレーやシチューのルウ、ジャムなど、粘りけのあるものは入れないでください。加圧調理中に、ノズルにルウなどが詰まり、圧力調整ができなくなる可能性があります。

2 ふたが正しく組み立てられているか確認し、ふたを閉める



※ 10 ページの「ふたの組み立てと確認」を参照し、次の点を必ず確認してください。

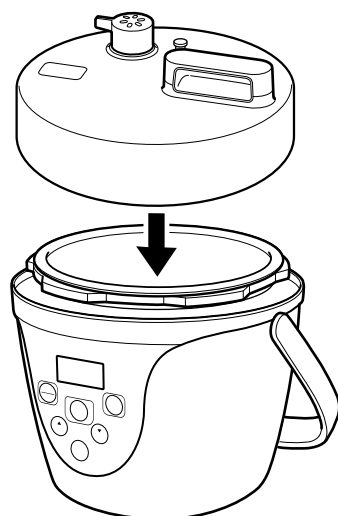
- 内ふたとパッキンがしっかりと取り付けられていること



内ふたとパッキンのつけ忘れに
ご注意ください。
機器の内部に蒸気が入り込み、
故障の原因になります。

- ノズルが目詰まりしていないこと
- 圧力切替弁がふたにしっかりと取り付けられていること

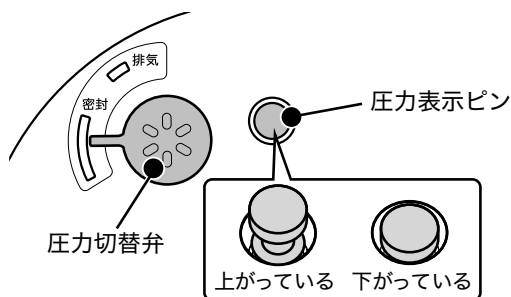
※ ふたは確実に閉めてロックしてください。安全のため、ふたがロックされていないと加圧調理ができません。



⇒ ふたの閉め方については、9 ページの「ふたの開けかた、閉めかた」を参照してください。

3

圧力切替弁を「密封」の位置にセットし、圧力表示ピンが下がっていることを確認する



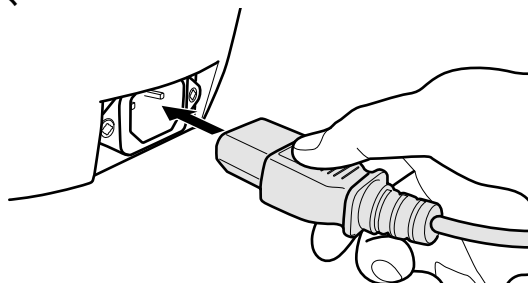
4

電源コードの本体側プラグを本体に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む

“ピッ”という音がします。



※ 定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災・故障の原因になります。



5

メニュー
入タイマー
(長押し)

を押して、メニューを選ぶ

メニューボタンを押すたびに、図の順にメニューが切り替わり、選択されているメニューのランプが点灯します。

時間 + (▲) ボタンや時間 - (▼) ボタンを押して加圧時間を調節することもできます。

⇒ 加圧時間の調節については、5 ページの「調理時間の目安」を参照してください。



※ 約 60 秒間なにも操作しないと、選択したメニューが取り消されてスタンバイモードに戻ります。その場合は、再度メニューボタンを押して、操作をやり直してください。

6

スタート

を押して、調理を開始する

- “ピッ”という音がして、スタートボタン右上のランプが点灯し、加熱運転が開始します。
- 加熱運転から加圧調理が変わると、ディスプレイ右側に表示されている残りの加圧時間が減っていきます。
⇒ 調理開始から加圧調理が始まるまでの時間は、材料の種類や量により異なります。
- 加圧調理が完了すると“ピッピッピッピッ”という音がして、スタートボタン右上のランプが消灯し、自動的に保温に切り替わります。
- 保温中は、切 / 保温ボタン左上のランプが点灯します。
⇒ 保温時間は、メニューにより異なります。5 ページの「調理時間の目安」を参照してください。
⇒ 保温機能については、15 ページの「保温について」を参照してください。

※ 加熱中の場合の表示例です。



使
い
か
た

7

調理後、を押して保温を終了し、圧力表示ピンが下がるまで待つ

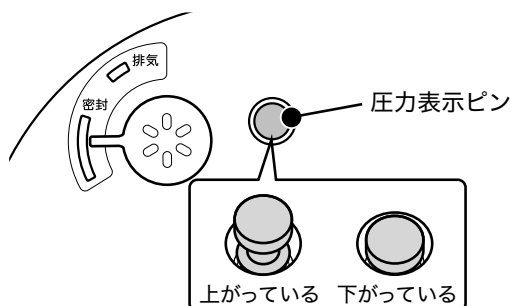
※ 圧力表示ピンが下がるまでの時間(減圧時間)の目安は、5～20分です。

※ 調理内容によって、減圧時間は異なります。



※ 調理後も内部の圧力は残っています。圧力表示ピンが下がるのを待ってから、ふたを開けてください。

※ 続けて使用しない場合は、保温を終了した後、電源プラグを抜いてください。



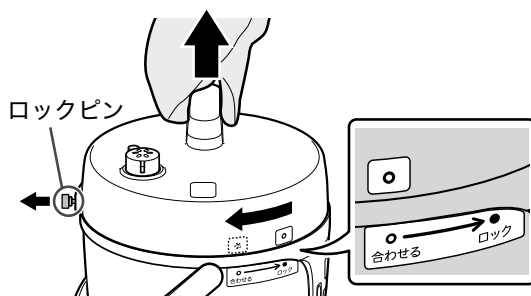
8

圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開ける

① 調理後にふたを開ける場合は、必ずミトンをはめてください。

② ロックピンを引っ張りながら、図の方向に、ふたの●マークと本体側面の●マークが合う位置まで回します。

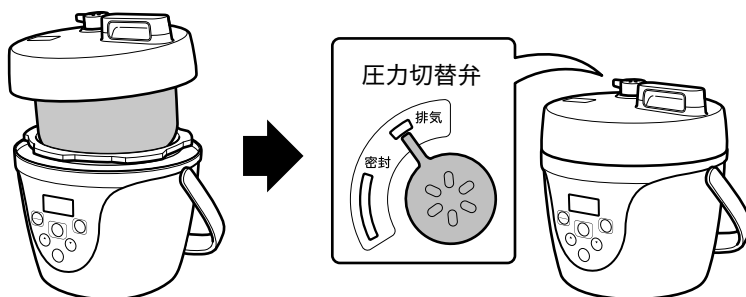
※ ふたの高温部(ロックピンや圧力切替弁、圧力表示ピン、内ふたなど)や、調理物から出てくる蒸気に素手で触れないように、ミトンを使用してください。



※ ふたを開ける際は、少し回して、ふたのすき間から蒸気が出てこないことを確認してください。
 ※ ふたを開ける際、重く感じたら内部の圧力が下がっていない可能性があります。少し時間を置いてから開けてください。
 ※ 内部の圧力が残っている状態で、絶対にふたを無理に開けないでください。少しでも圧力が残っていると、ふたが飛んだり、高温の蒸気や調理物が噴出したりして、けが、やけどの原因になります。

ふたを開けるときに内なべがくっついて離れないときは

一度ふたを本体に戻し、圧力切替弁を「排気」に切り替えてから、再度ふたを開けてください。



※ 圧力表示ピンが上がっている状態では絶対に「排気」にしないでください。
 ※ 圧力切替弁から蒸気が出てくることがあるので、ミトンをはめてください。

保温について

調理後は、自動的に保温に切り替わり、各メニューで設定された保温時間が経過するとスタンバイモードになります。

⇒ スロークッカーモードの保温時間は、6 時間です。その他の各メニューの保温時間については、5 ページの「調理時間の目安」を参照してください。

保温中は、保温開始からの経過時間がディスプレイに表示されます。保温を終了するときは、切 / 保温ボタンを押します。

例) 保温開始から 5 分経過した場合



※ スタンバイモードから保温に切り替えるときは、切 / 保温ボタンを押します。スタンバイモードから保温に切り替えた場合の保温時間は 24 時間です。保温時間の設定はできません。



※ 長時間の保温は、においや変色・腐敗の原因になります。

お好みモードについて

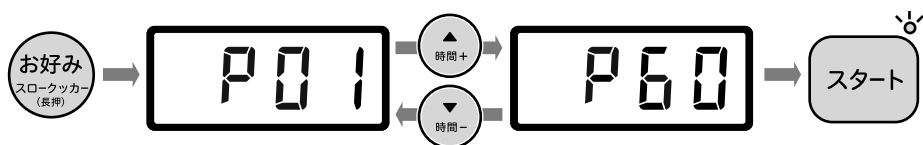


※ お好みモードで加圧調理を行う際は、12～13 ページの「使いかた（手順 1～手順 4）」に従ってください。また、注意事項をお守りください。

「お好みモード」では、加圧時間を 1 分単位で最大 60 分まで設定できます。お好みモードでの調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。

① お好みモードを使用する場合は、お好みボタンを押し、時間 + (▲) ボタンや時間 - (▼) ボタンを押して加圧時間を調節します。設定されている時間はディスプレイで確認できます。

② スタートボタンを押すと、調理が開始されます。



③ 加圧調理が終了すると、“ピッピッピッピッ”と音がして、自動で保温に切り替わります。お好みモードの保温時間は 1 時間です。

入タイマー（予約炊飯）について

白米・玄米は、予約した時間になると自動的に運転が開始する「入タイマー（予約炊飯）」を設定できます。白米・玄米の調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。



※ 白米、玄米以外の調理には、入タイマー（予約炊飯）は使用しないでください。室温や食材の種類によっては、腐敗やにおいの原因となります。

1 材料、内なべを準備し、「白米」または「玄米」のメニュー・加圧時間を選ぶ

⇒ 詳細については、12～13ページの「使いかた（手順1～手順5）」を参照してください。

2 を長押しする

メニューボタン上のランプが点灯し、ディスプレイに「00:00」と表示されます。



メニュー
入タイマー
(長押し)

3 を押して、入タイマー時間（運転を開始するまでの時間）を設定する



: 押すごとに10分ずつ進みます。

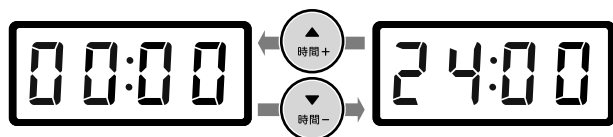


: 押すごとに10分ずつ戻ります。

ボタンを長押しすると早送り・早戻しできます。
最大24時間後までの時間を設定できます。



入タイマー時間が「00:00」のときに、さらに時間－(▼)ボタンを押すと、入タイマー時間は「24:00」になり、入タイマー時間が「24:00」のときに、さらに時間＋(▲)ボタンを押すと、入タイマー時間は「00:00」になります。



※ 入タイマー時間が「00:00」のまま約60秒間なにも操作しないと、調理がスタートします。再度、操作をやり直すには、切/保温ボタンを押して調理を取り消してください。

※ 入タイマー時間は誤差が生じる場合があります。

（誤差の目安: 「8:00」に設定した場合に最大で10分程度）

4 を押して、スタートする

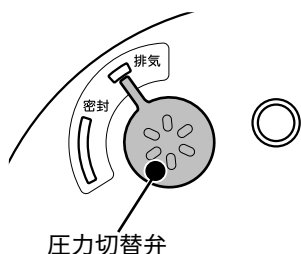
スタート

入タイマー（予約炊飯）の運転が開始されて、設定した入タイマー時間が経過すると調理が始まります。

スロークッカーモードについて

「スロークッカーモード」では、加圧せずに加熱調理を行います。加熱時間は5分～最大24時間まで設定できます。スロークッカーモードでの調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。冷めてしまった料理を再加熱する場合は、スロークッカーモードで行ってください。

- ① 材料を入れた内なべを本体にセットし、ふたを閉めたら、圧力切替弁を「排気」の位置に合わせてください。



※ 調理中や調理の直後は、圧力切替弁には触れないでください。高温の蒸気が吹き出し、けが、やけどの原因になります。

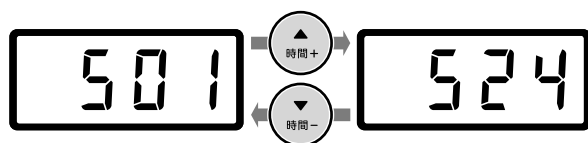
- ② スロークッカーモードを使用する場合は、お好みボタンを長押しします。



- ③ 「S 06」（6時間）と表示されたら、時間+（▲）ボタンや時間-（▼）ボタンを押して加熱時間を調節します。設定されている時間はディスプレイで確認できます。

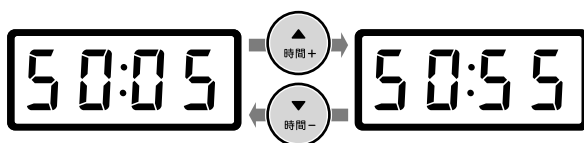
1時間以上（1時間～24時間）に設定するとき

※ 1時間単位で設定できます。

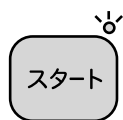


1時間未満（5分～55分）に設定するとき

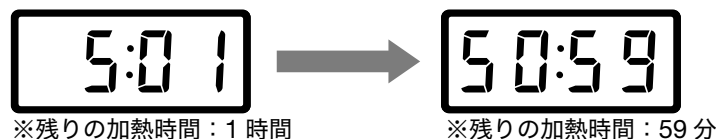
※ 5分単位で設定できます。



- ④ スタートボタンを押すと、調理が開始されます。



- ⑤ 調理中、残りの加熱時間が1時間以下になると、時間の表示が分単位に変わります。



※残りの加熱時間：1時間

※残りの加熱時間：59分

- ⑥ 加熱調理が終了すると、自動で保温に切り替わります。スロークッカーモードの保温時間は6時間です。

やむを得ず急いでふたを開けたいときは

急いでいる場合など、圧力表示ピンが自然に下がるのを待てない場合は、以下の方法で蒸気を抜いて減圧してください。



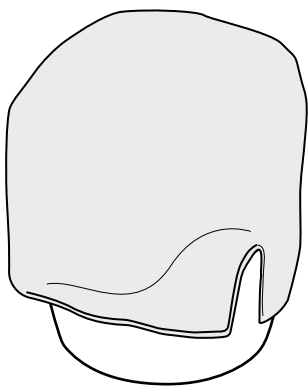
- ※ 調理中や調理終了直後の減圧は絶対にしないでください。
- ※ 蒸気は高温のため、取り扱いには十分注意してください。
- ※ 周囲に人やペットがいないことを必ず確認してください。

① 加圧調理が終了した後（ピッピッピッピッピと音がしてから）、を押して5分以上待ちます。

② 圧力切替弁を含むふたの上に、ぬれふきんを厚めにかけます。

※ 勢いよく蒸気が出て危険なので、必ず厚めのぬれふきんを使用してください。

※ ふた全体をおおうように、ぬれふきんをかけてください。

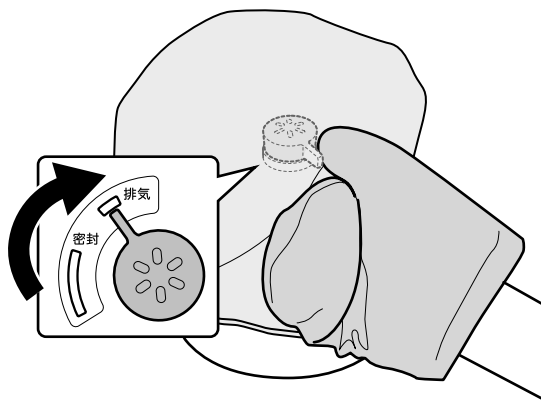


※ ぬれたふきんに調理したものがかかるおそれがあります。

③ ミトンをはめて、ぬれふきんの上から、圧力切替弁を「排気」の位置にゆっくり動かします。

※ 圧力切替弁のつまみの部分を、ミトンの先で押して動かします。

圧力切替弁の真上から蒸気が吹き出すため、必ずつまみの部分を押ししてください。圧力切替弁の真上には触れないでください。



※ 圧力切替弁から蒸気が出はじめたら、すぐに手をはなしてください。排出される蒸気に注意してください。

※ おかゆなど水分が多い料理の場合、調理したものが圧力表示ピンや圧力切替弁から噴出する場合があります。

④ 蒸気が出なくなったらぬれふきんを取り、圧力表示ピンが下がっていることを確認してからふたを開けます。

※ ふたや圧力切替弁、ぬれふきんが熱くなっているため、やけどに注意してください。



- ※ 高温の蒸気が出てきますので、ぬれふきんとミトンを必ず使用してください。
- ※ 内ふたや調理物が熱くなっていますので、ふたを開ける際はやけどに注意してください。

お手入れ



- ※ 内なべや内ふた、パッキンなどに食品かすなどの異物を付けたままにしたり、圧力切替弁や圧力表示ピン、ノズルに異物が詰まっていると、けがややけど、故障の原因となりますので、使用後はしっかりとお手入れをしてください。
- ※ お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて本体を冷まし、各パーツを取りはずしてから行ってください。調理後は、たまった煮汁が内ふたから出てくる場合がありますので、注意してください。
- ※ 本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、本体や操作パネルに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- ※ シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。
- ※ 食器洗い機や食器乾燥機は使用しないでください。部品が変形し、故障の原因になります。

お手入れする

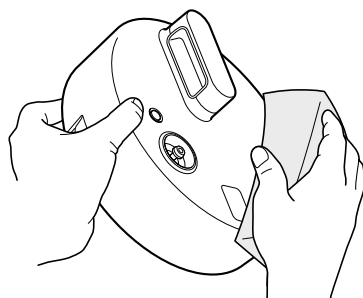
本体

やわらかいふきんで拭きます。
汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



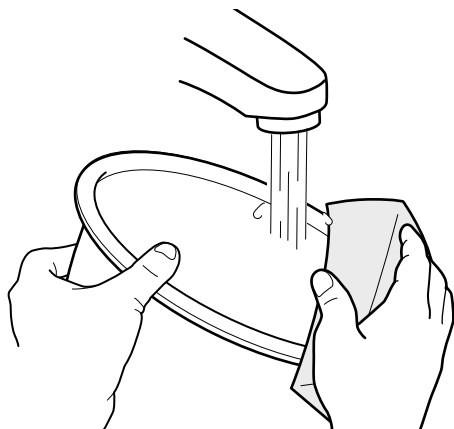
ふた本体

中性洗剤をつけたスポンジで全体を洗い、水で流します。
内ふたを取りはずして、ふた本体の内側も洗うことができます。



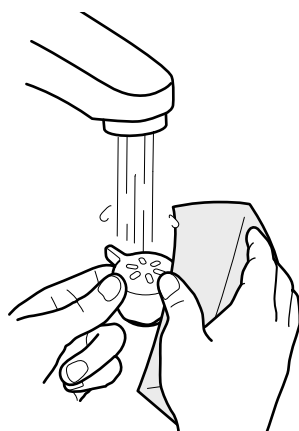
内なべ

中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。
スポンジはやわらかいものを使用してください。



圧力切替弁

ふたから取りはずし、中性洗剤をつけたスポンジでよく洗い、水で流します。

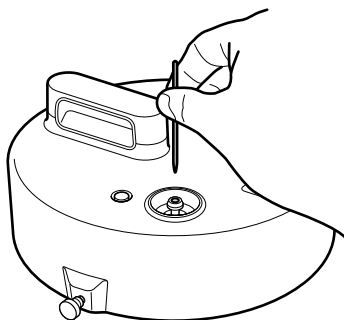


圧力表示ピン / ノズル

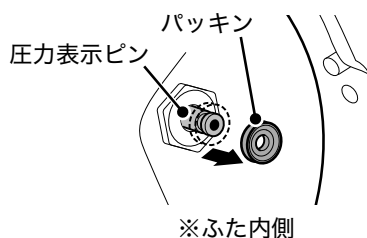
水を流し、食品かすなどの異物が詰まっていないか確認してください。

※ ふたの内側に水をためて、圧力表示ピンとノズルから水が出てくることを確認してください。圧力表示ピンは、ふたの内側からつまんで上下に動かし、水が出てくることを確認してください。

異物がある場合は、つまようじなどで除去してください。



圧力表示ピンは、パッキンを取りはずすことで、ふた本体から取りはずしてお手入れができます。お手入れ後は、ふた本体に圧力表示ピンとパッキンを必ず取りつけてください。



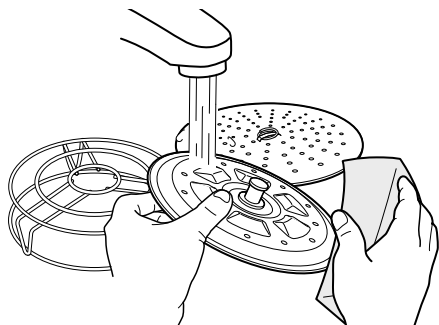
お手入れ

内ふた・付属品

中性洗剤とスポンジで洗い、乾いた布で拭いてください。

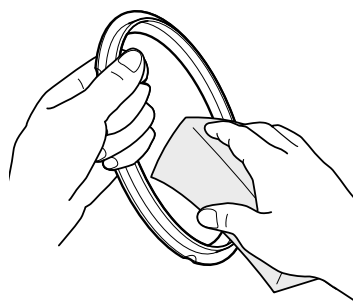
※ 強い力を加えたり、たわし、研磨剤入りの洗剤などを使用しないでください。傷や破損の原因となります。

※ 電子レンジ・オープン・オープンレンジ・食器乾燥機・食器洗い乾燥機では使用しないでください。



パッキン

パッキンを内ふたから取りはずし、中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。



パッキンのおいが気になる場合のお手入れ

- ① パッキンがひたるくらいの水をなべに入れて沸かします。
 - ② 重曹（小さじ 1）、酢（小さじ 1）を溶かしたらパッキンを入れて、20 分ほど煮沸してください。
- ※ 内ふたは入れないでください。変色の原因になります。



※ パッキンや内ふた、圧力切替弁などの部品は、お手入れ後の紛失や取りつけ忘れを防ぐため、乾いたらすぐ、ふたに取りつけておくことをおすすめします。

長期間使用しない場合

各部のお手入れ後、よく乾かしてから、お買い上げ時のケースに入れるか、ポリ袋に包むなどして、湿気のない場所に保管してください。

※ 部品や付属品の紛失にご注意ください。紛失を防ぐため、部品は本体やふたに取りつけた状態で保管することをおすすめします。



故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認くださいこと	直しかた
煮えていない。 煮え過ぎ。 水っぽい。	水量、設定時間を間違えていませんか。	付属のレシピブックを参照し、正しい水量、設定時間で調理してください。
	本体内部または内なべの外側に食品かすなど、異物が付着していませんか。	異物を取り除いてください。
	調味料が溶けずに残っていませんか。	調味料は、あらかじめ混ぜ合わせてください。
	材料が大きすぎませんか。	お好みモードで加圧時間を調整して、材料が煮えるまで加圧調理してください。
	ふたは確実に閉まっていますか。	ふたを確実に閉めてください。
焦げる。	圧力切替弁が「密封」の位置にセットされていますか。	加圧調理の際は、圧力切替弁を「密封」にセットしてください。「排気」にセットしていると、圧力がかからず調理ができません。
ふたのすき間や圧力切替弁から蒸気や汁がもれる。	ふた本体に内ふたが正しく取り付けられていますか。	内ふたを正しく取り付けてください。
	内ふたのパッキンが正しく取り付けられていますか。	パッキンを正しく取り付けてください。
	ふたやパッキン、圧力切替弁に食品かすなどの異物が付着していませんか。	異物を取り除いてください。
	本体・内なべ・ふたにへこみや傷、パッキンや圧力切替弁に傷はありませんか。	切/保温ボタンを押し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはサポートセンターへご連絡ください。
時間表示が変化しない。	基本メニューやお好みモードで、加圧調理をしていませんか。	加圧状態に達するまでは、時間表示が変化しません。
ふたを閉めた後や加圧調理中、ふたと本体の間にすき間ができる。	ふたの開け閉めの際に、ふたと本体が接触しないよう、すき間ができる設計になっています。ふたと本体のすき間から、蒸気のもれや噴出が起これなければ異常ではありません。	
ふたのすき間や圧力切替弁から蒸気が噴出する。	ふたは確実に閉まっていますか。	ふたを確実に閉めてください。
	材料の量または水量が多すぎませんか。	内なべの「調理 MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わないでください。豆腐や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類 MAX」の線以上に、水や食材を入れないでください。
	圧力表示ピンのパッキンが正しく取り付けられていますか。	パッキンを正しく取り付けてください。
	圧力切替弁を外していませんか。	大変危険なので、使用中に、絶対に圧力切替弁を外さないでください。

故障かなと思ったら

こんなとき	ご確認くださいこと	直し方
ふたのすき間や圧力切替弁から蒸気が強く噴出し続ける。 (5分以上)	ふたを正しく組み立ててセットしていますか。 加圧調理中、圧力切替弁を「密封」の位置にしていますか。	吹き出す蒸気に注意して、切 / 保温ボタンを押し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止してください。冷めたら圧力切替弁・ふたを正しくセットしてください。正しくセットしても直らない場合は、販売店またはサポートセンターへご連絡ください。
ボタンを押しても操作できない。	ふたはロックされていますか。	加圧調理の場合、ふたがロックされていないと、ディスプレイに「ーーー」が表示されて、加圧調理の設定操作や調理開始の操作ができません。ふたはロックがかかるまで確実に閉めてください。
加圧調理が途中で停止している。	調理中にふたを開けていませんか。	ディスプレイに「ーーー」が表示されている場合は、安全装置により調理が中断します。ふたを閉めてロックすることにより、調理が再開します。

こんなとき	対処のしかた
エラーメッセージ (E1、E2、E5) が表示される。	故障の可能性があります。切 / 保温ボタンを押し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはサポートセンターへご連絡ください。
エラーメッセージ (E3) が表示される。	内なべを入れ忘れていませんか。
エラーメッセージ (E4) が表示される。	異常加熱の場合に表示されます。切 / 保温ボタンを押し、電源プラグを抜いて、5 分ほど待ってから再度操作してください。 ※ 水分の少ない食材・汁気の少ない調理物の場合は、温度を均一にするため、かきまぜてから上記の操作を行ってください。 ※ 無水調理の場合、材料を入れる順番や分量は付属のレシピブックに従ってください。
エラーメッセージ (E6) が表示される。	ふた本体に内ふたやパッキンを取りつけずに使用すると表示される場合があります。内ふたとパッキンを正しく取りつけても改善しない場合は故障の可能性がありますので、販売店またはサポートセンターへご連絡ください。
	内ふたのパッキンの劣化により、蒸気もれが起きていると表示される場合があります。 ※ パッキンは消耗品です。6 カ月～1 年のご使用を目安に交換してください。
メニューボタンや切 / 保温ボタンを押しても、ディスプレイが「0000」のまま表示が変わらない。	故障の可能性があります。電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはサポートセンターへご連絡ください。
使用中に停電した場合。	瞬時の停電の場合は、復電後、運転が再開します。加圧調理中に停電した場合、圧力表示ピンが上がっている間は、ふたを無理に開けたり、本体を移動させたりしないでください。蒸気や調理物が噴出し、けが、やけどの原因になります。



※ ふたを開けて中身を確認したり、調理をやり直したりする場合は、切 / 保温ボタンを押して調理を中止し、電源プラグを抜いてください。圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開けてください。

仕様

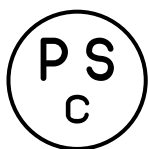
品名（型番）	マイコン電気圧力鍋（SPC-211）
外形寸法（約）	幅 23.5× 奥行 23.8× 高さ 25cm
電源	交流 100V 50/60Hz
消費電力	700W
調理容量	1.3L
呼び容量 （満水容量）	2L
使用最高圧力	60kPa ゲージ圧

質量（約）	2.7kg
電源コードの 長さ（約）	1.2m
温度ヒューズ	142℃
安全装置	温度過昇防止装置
付属品	落しふた、蒸し台、レシピブック
原産国	中国



この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

PSCマーク・SGマーク取得



PSC マーク

「消費生活用製品安全法」の家庭用の圧力なべ及び圧力がまの安全基準に適合していることを示します。



対人賠償責任保険付
製品安全協会

SG マーク

SG マーク制度は、家庭用の圧力なべ又は圧力がまの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまった時は、お買い上げの販売店でお買い求めください。

または、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

●「※」がついている部品は消耗品のため、保証期間内でも有料とさせていただきます。

品名	部品コード
落しふた	SPC-111-OB
蒸し台	SPC-101-MD
パッキン（内ふた用）（※）	SPC-101-PC
内ふた	SPC-101-UF

品名	部品コード
内なべ	SPC-101-UN
圧力切替弁	SPC-101-AB
電源コード	SPC-101-DC
レシピブック	SPC-211-RB

長年ご使用の電気圧力鍋の 点検を！

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。
誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- ・ シロカ株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- ・ 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

この電気圧力鍋の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

- 修理、使いかた、お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記へご連絡ください。

〈シロカサポートセンター〉 電話： ナビダイヤル  0570-001-469
※上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800
受付時間：10:00～17:00（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F
インターネットでのお問い合わせ：ホームページ <https://siroca.co.jp/> ※「お客様サポート」のページからお入りください。

- 消耗部品・別売品は、シロカサポートストアからご注文いただけます。

〈シロカサポートストア〉 <https://siroca.jp/> ※商品により、お取り扱いがない部品がございます。
サポートセンターまでお問い合わせください。

サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- ・ サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

シロカの最新情報はこちらでチェック！



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/



シロカ
サポートストア
siroca.jp

MEMO

This image shows a full page of white paper with horizontal dotted lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a guide for handwriting or typing. There are no margins, text, or other markings on the page.

MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]

保証書

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げ
いただいた販売店、もしくは弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

ご購入日： 年 月 日

型番	SPC-211		保証期間	シリアル NO.
			お買い上げ日より 本体 1 年間	
お客様	お名前	ふりがな		
	ご住所	□□□□—□□□□ TEL — —		
販売店	店名・住所・電話	※ 購入日を証明するレシートまたは送り状などを必ず添付してください。 証明がない場合、保証対象にならない場合があります。		

お問い合わせ シロカサポートセンター 電話：ナビダイヤル  0570-001-469
※上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800
受付時間 10：00～17：00（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）
ホームページ <https://siroca.co.jp/> シロカ株式会社

この保証書は、本書記載内容で無償修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき当社が無償修理いたしますので、商品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、もしくはサポートセンターまでご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、塩害、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両、船舶への搭載や、極端な高温、低温、多湿、埃の多い場所などで使用された場合の故障または損傷。
 - 一般家庭以外（例えば業務用など）で使用された場合の故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本機のご購入を証明するレシート等の証明書が無く、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名が確認できない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
 - 高温多湿の場所など保存上の不備、経年劣化、自然消耗による瑕疵の場合。
 - 腐食による故障、及び損傷
 - 故障の原因が本製品以外（電源など）にあって、それを点検、修理した場合。
 - フィルター、バッテリーなどの消耗品の場合。
 - 日本国外で使用された場合。
- お買い上げ店などへご持参いただく際の交通費、サポートセンターへご送付いただく際の送料、諸掛りはお客様のご負担となります。
- 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。
- 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 本書に基づく無償修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
- 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
- 本製品のご使用や、本製品の故障に起因する付随的損害については、弊社では一切の責任を負いかねます。
※ 本製品でのご使用により生じたその他の機器損害に対し、弊社は一切の責任を負いかねます。
※ 本製品でのご使用、または使用不能から生じる付随的な損害に対し、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

170506R2